



立教大学体育会ゴルフ部OB会 会報

巻頭言： 将来のゴルフ部強化に向けて

新年明けましておめでとうございます。寒さ厳しきおり、OB会会員の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて体育会ゴルフ部は昨年創部 45 周年という節目を迎え、平成 15 年度は 50 周年に向けての新たなスタートを切る 1 年となります。これを踏まえ、OB会としては、体育会ゴルフ部の更なる発展に向けて、学内練習場の建設、新座中学ならびに池袋中学・高校におけるゴルフ部の設立など、選手強化のための計画を実行するために活動していきたいと考えております。

現役学生に目を向けますと、青木監督を中心としたコーチ陣による指導のもと、新座高校から大学にかけての長期的視野に立った強化方針が確立されました。残念ながら女子はCブロック降格を経験しましたが、Bブロック復帰に向けた戦力を整えて来たるべきシーズンを迎えることになりそうです。しかしながら、昨今の国内経済状況において、学生がプレーおよび練習において数年前と同様の環境を維持することは極めて困難になってきております。トーナメントバイトおよびキャディバイトが激減した現状において、学生は年間 6 万円の部費を捻出しながら日々練習に励んでおりますが、今後の部員確保を考えますと学生の負担軽減は大きな懸案となるでしょう。

このような流れの中で、OB会の果たすべき役割は以前にも増して大きなものになりつつあります。会員の皆様のご協力、とりわけ現役強化資金の源泉ともなるOB会費の納入にぜひともご協力を賜り、更にはOB総会に多くのOB・OGがご出席くださることをお願い申し上げます、ご挨拶にかえさせていただきます。



会長 佐野 公胤
(昭和 41 年卒)

平成 14 年度立教大学体育会ゴルフ部OB会会報 目次	
創部 45 周年記念祝賀パーティー	2
平成 14 年度リーグ戦を振り返って	2
平成 14 年度競技会結果	4
平成 14 年度主将ご挨拶	6
平成 15 年度新幹部ご挨拶	6
立教大学体育会ゴルフ部部長ご挨拶	8
平成 14 年度立教大学体育会ゴルフ部OB会コンペ結果	8
平成 14 年度立教大学体育会ゴルフ部OB会総会議事録	9
OB会費納入の現状とお願い	11
編集後記	12

立教大学体育会ゴルフ部 創部 45 周年記念祝賀パーティー

平成 14 年 4 月 26 日 於 センチュリーハイアット東京

平成 14 年 4 月 26 日（金）センチュリーハイアット東京において立教大学体育会ゴルフ部創部 45 周年記念祝賀パーティーが盛大に行われました。当日は、田代泰久教授の新部長就任というゴルフ部にとって大変喜ばしいご報告をはじめ、若手OB中心の企画運営での初めての実施となり、記念すべき祝賀パーティーでありましたことをご報告申し上げます。また、出席者のご家族での参加を含め 100 名を越え、40 周年同様、家族で楽しめるパーティーとなりました。アトラクションは、ピンゴゲームをはじめ、昨年立教小学校の授業で実施致しましたスナッグゴルフ（子供でも体験できるゴルフ）の年代別対抗戦など、出席OB会員には楽しいひとときをお過ごしいただけたのではないかと思います。

また、当日は、45 周年記念特製エンブレム購入へのご協力や、OB会費の納入、自動引き落としのお申し込みなど、OB会運営に多大なるご支援をいただきました会員の皆様が多数いらっしゃったことも大きな成果であったように思われます。又、若い会員が多数出席したことは、将来の立教大学体育会ゴルフ部OB会の発展につながっていくことを確信できたパーティーでもありました。

今後も 50 周年、100 周年に向かって立教大学体育会ゴルフ部OB会が発展していくこと、そして現役学生の活躍を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。皆様のご協力誠にありがとうございました。

45 周年実行委員長 川上恭弘（昭和 63 年卒）

平成 14 年度リーグ戦を振り返って

日頃よりOB・OG会員の皆様には、学生に対し多大なるご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて本年度、女子はBブロック維持を目標にリーグ戦に臨みました。しかしながら、女子に関しては残念ながら春季リーグ戦において6位という結果に終わり、Bブロックを死守することができませんでした。昨年の春の昇格以来、Bでの試合は2季しか経験できなかったわけですが、女子におけるB・Cブロックのレベルの違いを肌で感じさせられました。具体的には、Cブロックではほとんどいない70台で回る選手が、Bブロックでは相当数いるという状況です。

その為、本学の選手もかなり高いレベルでプレーするを経験でき、自分のゴルフに対する目標も高いところに設定できたのではないかと思います。秋季Cブロックリーグ戦では、残念ながら2位という結果に終わり、Bブロックへ1季で返り咲くことはできませんでしたが、来年度は現戦力の大半が残るため、Bへの復帰は高い確率で実現できるのではないかと考えております。OGの皆様方に一日も早い昇格報告をさせて頂くように努力してまいりますので、応援の程よろしくお願い申し上げます。

一方Bブロックの男子は、昨年に続きチャンスがあればAブロック昇格をしたいと考えておりました。恐らく私がコーチをさせて頂き、その後監督に就任してから一番強いチームができあがったのではないかと思います。そんな中で、春季リーグ戦では初日を首位と2打差の2位と好発進いたしました。A昇格の夢は膨らんだわけですが、結果は最終日だけをとってみれば、6位となって降格した慶應大よりも悪いスコアで、初日の貯金があったのでどうにか4位で踏み止まったという状態でした。初日よりスコアが良かった者が8名中1名しかおらず、別の大学かと思わせるスコアを見せつけられる結果となったのですが、



監督 青木 克益
（昭和 63 年卒）

その理由は体力がないなどという単純なものだけではないと考えております。学生たちを擁護するのもかもしれませんが、昨年リーグ戦優勝を僅差で逃したことを経験した彼らはAブロックに近いところにいることを肌で感じており、少なくとも初日より少しでも良いスコアで回れば優勝できると思ったに違いなく、「このチャンスは逃さない」というプレッシャーからきた結果だと考えており、これは私にも責任があるかと思えます。幾度となく“伝統校”たる立教の位置付けを話し、更に過去Aブロックで戦い、輝かしい成績を修めてきた先輩方の話を彼らにしてみました。これらが彼らを必要以上のプレッシャーの渦に落とし入れたのではないかと考えているからです。

春季リーグ戦が終わると、すぐに秋季リーグ戦はやってきます。ほとんど実力差がないBブロックにおいてこのリーグ戦は、昇格と降格の両方を考え、更に本年度にて抜ける5名のレギュラーの穴を埋めるべく来年度のことも考えて臨むという課題もありました。5日間という長丁場の中、毎日どちらが勝つかわからない試合が続きました。初日の対神奈川大戦には僅差で勝利することができたものの、続く2日目は対東洋大戦には逆に僅差で負けという結果で、他で対戦している大学も同じ状況となっていました。そして3日目法政大との一戦は勝てば昇格争い、負ければ降格争いとなる正念場となったわけです。これは対戦相手の法政にとっても同じ状況で、朝の選手紹介やエール交換からお互いを意識し、選手たちは緊張状態の中でスタートしていきました。試合は、本学が前半のダブルスをうまく戦い、6ポイント中4ポイント取ることができたわけですが、後半のシングルスは一転、棚倉田舎のクラブハウスから近い13番ホールのグリーンサイドに私が陣取っていると、1組目から6組目まで6名中、アップしている者がひとりもないという劣勢に立たされました。大逆転負けもありえる状況の中で選手は残り5ホールを粘り強く戦い、3名が勝利しシングルスではタイに持ちこみ、法政に勝利することができました。最終組の主将丸山が、オールスクエアで迎えた17番で劇的なチップインバーディ、1UPで18番を迎えた瞬間、このホールをたとえ負けても立教の勝ちが決まり、グリーンサイドのみんなで何度もガッツポーズをしながら握手を交わし、喜びあったことはこのリーグ戦での一番の思い出となったのではないかと思います。

優勝を完全に視野に入れた4日目、対拓殖大戦の前半ダブルスは、うまくいけば全ポイント奪取さえあったほど本学は良い成績でした。そこから一転、午後のシングルスは悪夢でした。昼食時に私が「誰か休むか？」と聞くと、4年生が3名も手をあげるという状況で、選手たちの疲労はピークに達していました。彼らは前日の法政戦を乗り切ったことで燃え尽きてしまったのではないかと思うくらい、目が生きてなかったのが印象的です。返すがえすも、この拓殖戦のシングルスが悔やまれる次第です。

最終日も他校の試合結果によっては優勝もあるという状況でしたが、午前ダブルスで全員が最終ホールまで持ち込みながら負け、僅差の試合を1ポイントも獲得できませんでした。後半は来季を考えた選手構成で試合に臨みましたが、実力の差は明白で、またも1ポイントも獲得できませんでした。しかしながら、来年の主力メンバーを起用することができたこと、最終日まで優勝争いができたことなど、数多い収穫をこのリーグ戦で得ることができたかと思えます。

これにて、1年生からまた2年生からずっとレギュラーでBブロック昇格の原動力となってきた4年生が抜けることとなります。伝統校立教の看板を背負い、本当によくがんばってくれました。全員レギュラーである4年生5名に感謝したいと思います。あと2ストローク足りずにAブロック昇格を逃したことがありました。あと1勝することができなくてAブロック昇格を果たすことができないこともありました。しかしながら、ここ何季かはいつもAブロック昇格の夢を彼らに見せてもらいました。残念ながらその夢は彼らでは実現することができませんでしたが、『平成最強チーム！』と言われた彼らの活躍は、今後ずっと語られるに違いありません。

来年は男子にとっていよいよ正念場となります。4年生が抜けたこの穴は、簡単には埋められるものではありません。現状ではBブロック残留は難しい状態です。技術面の強化、精神面の強化を行い、努力に努力を重ね、来季に備える所存でございます。今後とも応援の程宜しくお願い申し上げます。

平成14年度関東大学対抗男子春季Bブロックリーグ戦 結果

平成14年5月28日～29日 於 東ノ宮カントリークラブ

各校10名登録、各日8名出場(18ホールズストロークプレー)、上位7名のトータルスコアにより順位を決定

優勝校はAブロック昇格 6位校はCブロック降格

順位	大学名	1日目	2日目	TOTAL
1	駒澤大学	541	525	1066
2	東洋大学	551	554	1105
3	神奈川大学	549	558	1107
4	立教大学	543	567	1110
5	拓殖大学	559	553	1112
6	慶応義塾大学	560	556	1116

個人別成績	1日目			2日目		
	名前(学年)	おばな	さつき	TOTAL	おばな	さつき
丸山(4年)	33	40	73	38	42	80
矢作(4年)	40	38	78	40	39	79
小坂(4年)	39	37	76	41	42	83
鈴木聡(4年)	43	41	83	37	43	80
内山(3年)	39	38	77	41	41	82
林(3年)	36	42	78	38	43	81
小野(3年)	40	41	81	39	42	81
篠原(1年)	37	43	80	39	45	84
風間(4年)	-	-	-	-	-	-
長田(3年)	-	-	-	-	-	-

優勝した駒澤大学は秋季リーグ戦Aブロック昇格
6位となった慶応義塾大学は秋季リーグ戦Cブロック降格

平成14年度関東大学対抗男子秋季Bブロックリーグ戦 結果

平成14年8月19日～23日 於 棚倉田舎倶楽部

各校10名登録、各日午前ダブルス6P(18ホールズ)、午後シングルス6P(18ホールズ)マッチプレー

ポイント争奪により勝敗を決定

優勝校はAブロック昇格 6位校はCブロック降格

第1日目

立教大学	7		5	×神奈川大学
	4	ダブルス	2	
矢作(4年)		2 & 1	×	神大
鈴木聡(4年)				
内山(3年)		2 & 1	×	神大
甚野(1年)				
丸山(4年)	×	4 & 3		神大
小坂(4年)				
	3	シングルス	3	
内山(3年)		1UP	×	神大
丸山(4年)		4 & 2	×	神大
矢作(4年)	×	4 & 3		神大
鈴木聡(4年)		2 & 1	×	神大
風間(3年)	×	4 & 3		神大
小坂(4年)	×	2 & 1		神大

第2日目

×立教大学	4		8	東洋大学
	2	ダブルス	4	
内山(3年)		1UP	×	東洋大
甚野(1年)				
丸山(4年)	×	1UP		東洋大
小坂(4年)				
矢作(4年)	×	4 & 3		東洋大
鈴木聡(4年)				
	2	シングルス	4	
矢作(4年)	×	1UP		東洋大
林(3年)		2UP	×	東洋大
内山(3年)		5 & 3	×	東洋大
小坂(4年)	×	1UP		東洋大
鈴木聡(4年)	×	4 & 3		東洋大
丸山(4年)	×	4 & 2		東洋大

第3日目

立教大学	7		5	×法政大学
	4	ダブルス	2	
内山(3年)		5 & 4	×	法大
甚野(1年)				
丸山(4年)		4 & 3	×	法大
林(3年)				
矢作(4年)	×	4 & 3		法大
鈴木聡(4年)				
	3	シングルス	3	
内山(3年)		2 & 1		法大
甚野(1年)	×	2UP		法大
林(3年)	×	8 & 7		法大
鈴木聡(4年)		2 & 1		法大
小坂(4年)	×	3 & 1		法大
丸山(4年)		1UP		法大

第4日目

×立教大学	5		7	拓殖大学
	4	ダブルス	2	
内山(3年)		3 & 2	×	拓大
甚野(1年)				
矢作(4年)		3 & 2	×	拓大
鈴木聡(4年)				
丸山(4年)	×	2UP		拓大
小坂(4年)				
	1	シングルス	5	
丸山(4年)		2UP	×	拓大
鈴木聡(4年)	×	2 & 1		拓大
内山(3年)	×	6 & 5		拓大
矢作(4年)	×	4 & 3		拓大
鈴木聡(4年)	×	6 & 5		拓大
小坂(4年)	×	2UP		拓大

第5日目

×立教大学	0		12	明治大学
	0	ダブルス	6	
内山(3年) 基野(1年)	×	2UP		明大
矢作(4年) 鈴木聡(4年)	×	2UP		明大
丸山(4年) 小坂(4年)	×	1UP		明大
	0	シングルス	6	
丸山(4年)	×	3&2		明大
鈴木聡(4年)	×	4&2		明大
内山(3年)	×	3&2		明大
矢作(4年)	×	4&2		明大
鈴木聡(4年)	×	6&5		明大
小坂(4年)	×	2&1		明大

最終順位

順位	大学名	成績
1	明治大学	3勝2分
2	法政大学	3勝1敗1分
3	東洋大学	2勝3敗
4	立教大学	2勝3敗
5	拓殖大学	2勝3敗
6	神奈川大学	1分4敗

優勝した明治大学は来年度春季リーグ戦Aブロック昇格
6位となった神奈川大学は来年度春季リーグ戦Cブロック降格

平成14年度関東大学対抗女子春季Bブロックリーグ戦 結果

平成14年5月11日～12日 於 那須小川ゴルフクラブ

各校5名登録、4名出場(18ホールズストロークプレー)、上位3名のトータルスコアにより順位を決定

優勝校はAブロック昇格 6位校はCブロック降格

順位	大学名	1日目	2日目	TOTAL
1	明治大学	279	254	533
2	慶応義塾大学	282	268	550
3	学習院大学	295	280	575
4	東洋英和女学院大学	300	281	581
5	玉川大学	297	285	591
6	立教大学	307	295	602

個人別成績	1日目			2日目		
	名前(学年)	OUT	IN	TOTAL	OUT	IN
三浦(4年)	50	49	99	50	47	97
武藤(3年)	60	56	116	54	51	105
島田(3年)	55	60	115	52	64	116
原(2年)	47	46	93	48	45	93
菊池(2年)	-	-	-	-	-	-

優勝した明治大学は秋季リーグ戦Aブロック昇格
6位となった立教大学は秋季リーグ戦Cブロック降格

平成14年度関東大学対抗女子秋季Cブロックリーグ戦 結果

平成14年8月22日～23日 於 霞ヶ浦出島ゴルフ倶楽部

各校5名登録、4名出場(18ホールズストロークプレー)、上位3名のトータルスコアにより順位を決定

優勝校はBブロック昇格 7,8位校はDブロック降格

順位	大学名	1日目	2日目	TOTAL
1	日本女子大学	244	242	486
2	立教大学	256	259	515
3	東京家政大学	270	255	525
4	大東文化大学	285	266	551
5	聖心女子大学	277	284	561
6	共立女子大学	285	281	566
7	上智大学	279	295	574
8	清泉女子大学	323	318	641

個人別成績	1日目			2日目		
	名前(学年)	OUT	IN	TOTAL	OUT	IN
三浦(4年)	38	41	79	50	47	97
萩野谷(4年)	44	47	91	-	-	-
根本(4年)	-	-	-	56	53	109
武藤(3年)	40	46	86	49	39	88
原(2年)	42	49	91	39	40	79

優勝した日本女子大学は来年度春季リーグ戦Bブロック昇格
7位となった上智大学および8位となった清泉女子大学は来年度春季リーグ戦Cブロック降格

平成 14 年度主将 ご挨拶

【 男子 】

本年度は期待と不安が常に交錯する年でした。昨年、初めてBブロックで試合を行い、各校ともに実力が均衡する中、いつ昇格・降格するのか全く分からない状況下での試合の厳しさを痛感しました。Aブロック昇格には、本学の特徴とも言える「部員全員でリーグ戦を戦う結束力」が必要不可欠だと感じました。そこで本年度は、各個人のゴルフ・部活に対する姿勢を見直すことからはじめました。

ひたすら球を打ち込み、合宿の数を増やし、部員全員でゴルフをする機会を多く持ちました。その結果、昨年よりも個人の実力が発揮され、選手層の厚みも増して各リーグ戦を迎えることが出来ました。春・秋季とも、Aブロックを目前にしながらも4位という結果に終わりました。結果は非常に悔しいものとなりましたが、ゴルフ部に対する私たちの意思は次の世代に受け継がれたと思っております。

最後になりましたが、監督はじめOB・OGの方々には数多くのご指導を賜り、心からお礼申し上げます。今後は、4年一同OBとして立教大学体育会ゴルフ部を支えていきたいと思っております。



4年 丸山 大輔

【 女子 】

今年度の方針としましては、ゴルフのことを全く知らない新入部員も含め、部員全員が楽しくゴルフをし、なおかつ一人ひとりが課題を持ってそれに取り組みレベルアップすることを目標として活動してきました。しかしながら、新しい戦力で臨んだ春季リーグ戦では、各自が自分の力を出し切れずにBブロックで6位という残念な結果に終わってしまいました。そこから夏季リーグ戦までは約3ヶ月という短い期間ではありましたが、今度は“Cブロック優勝”という明確な目標を全員で掲げることができたこともあり、今まで以上に強い部員同士の結びつきをもって夏季リーグ戦に臨むことができました。結果的には準優勝に甘んじてしまいましたが、春の時とは違って、みんな自分の持てる精一杯の力を発揮し、悔いの残らない戦いができたと思います。今年は優勝を逃してしまいましたが、今回のリーグ戦で得た様々な経験を活かして、次のリーグ戦では是非チャンスをつかんでもらいたいと思います。

最後になりましたが、OB・OGの方々からの多大なる御支援、本当にありがとうございました。立教大学体育会ゴルフ部がますます発展するよう部員一同これからも精進してまいりますので、今後も御指導、御鞭撻の程よろしくお願い致します。



4年 三浦 真理子

平成 15 年度新幹部 ご挨拶

【 男子新主将 】

私はこの度、平成 15 年度立教大学体育会ゴルフ部主将を任されました。一言ご挨拶申し上げたいと思います。

我がゴルフ部は創設以来 500 人有余の諸先輩を送り出した伝統あるゴルフ部です。常に、立教大学体育会の中核として活動を行い、競技ゴルフへのたゆまぬチャレンジとチームワークの向上により、グローバル社会において立派に通用する人材育成に取り組んでいます。



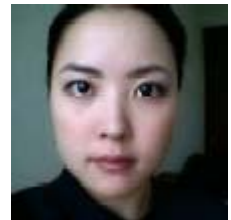
3年 内山 俊男

来年度活動の大きな目標はやはり、年2回行われる大学対抗リーグ戦において、Bブロック優勝を勝ち取り、Aブロックに昇格することです。Aブロックには日本大学、東北福祉大学などの強豪大学が顔を並べていますが、「Aブロックに立教大学あり」と言われるような活躍をしたいと考えています。

目標達成に向けましては、個人レベルの向上はもとより、部員相互間で切磋琢磨することはもちろんのこと、「体・技・心」に磨きをかけ、チームワークを向上することが必要不可欠であります。また、諸先輩方や部活動の仲間との交流を深めることにより、立派な社会人となり、社会に貢献できる人材の育成にもつなげていきたいと考えております。

【 女子主将 】

絶対に実現したいことは、Bブロック昇格です。残念ながら昨年、私たちはCブロックに降格してしまいました。降格して実際にCブロックで戦ってみて、改めてBブロックにいることの大切さを知りました。そして、早くBブロックに戻りたいという気持ちを強く持ちました。やはり、体育会ゴルフ部として活動している以上、高いレベルで戦っていきたくて、そうでなければ活動している意味がありません。私は、代々先輩方が築いてこられた立教大学体育会ゴルフ部の文化を継承しつつ、さらに発展できるように仲間と協力して努力していきたくて思っています。



3年 武藤 可奈子

ゴルフ技術の向上に関して、ゴルフ部に入部したとしてもそのほとんどが初心者で、何もかも一から始めなければいけないのが現実です。そんな状況の中、試合で結果を出すためには、練習環境の構築が欠かせないと思います。私は、女子主将として後輩たちのゴルフ環境を何とかして改善したいと考えています。もう一つの抱負は、女子部員数の増加です。現在1年から3年まで全員で6名しかおりません。ゴルフというスポーツの女性の間での知名度の低さや経済的問題から、なかなか部員が集まりにくいのが現状です。そうした壁を乗り越えて、来年は今の1年生、2年生、同期の島田、男子部員と知恵を絞って、多くの部員を獲得して活気ある体育会ゴルフ部を築きたいと考えています。

【 全日本学生ゴルフ連盟・関東学生ゴルフ連盟委員長 】

私はこの度、平成15年度全日本兼関東学生ゴルフ連盟委員長に就任しました、経済学部経営学科3年の長田昌也です。

一昨年に2001年度卒の森大介さんが関東学生ゴルフ連盟委員長になられてから2年間、関東学生ゴルフ連盟の仕事を務めてまいりました。正直に申しますと、森さんや前委員長の今西さんが仕事しているのを目の前で見てきて、責任の重大さや連盟をまとめる力が私にはあるのかと少し不安を抱いておりますが、悔いの無いように全力を尽くしていきたいと思っております。



3年 長田 昌也

2年間、関東学生ゴルフ連盟の仕事をしてきましたが、今までに何度か関東学生ゴルフ連盟と選手が噛み合わないことがありました。私は、選手がやり易い試合、及び関東学生ゴルフ連盟が試合をスムーズに進行できるように両立を目標にして頑張っていきたいと思っております。一年間宜しく願いいたします。

立教大学体育会ゴルフ部部長 ご挨拶

明けましておめでとうございます。

昨シーズンのゴルフ部は男子・女子とも昇格ないし復帰という当初の目標が果たせず残念でしたが、日本のゴルフ界には暮れになってビッグニュースが飛び込んできました。申すまでもなくワールドカップでの丸山・伊沢組の優勝です。

が、これも残念なことに、一般にはあまり話題にならずじまいだったようです。一大快挙として国民的話題となり、その後のゴルフブームの起爆剤となったとされる霞ガ関での中村・小野組の勝利と比べますとその差は歴然です。

このような差が出たのには、地元優勝か否かもありますし、時代背景の違いもあります。45年前の勝利が敗戦国コンプレックスを含んだ中進国的熱狂によって迎えられたのに対し、現在の日本は不況に苦しむ先進国、ゴルフの一勝利に騒ぐ状況にはありません。

しかし、今回の冷淡な反応には、ゴルフというスポーツに対する社会的イメージの低下も少なからず作用している点は否定できません。過去のゴルフ人気は単なる憧れや少数のスーパースターに支えられてきたようです。そのような人気を取り戻すことは無用ですが、ゴルフの本質へ理解・共感を高めることによってイメージを回復する必要はあるかと感じます。OB・OGの皆様方には、今年も引き続き部活動への強力なご支援をお願い致しますと共に、我が国ゴルフ界の良心派・知性派のリード役として多方面での活躍を期待申し上げる次第です。



体育会ゴルフ部部長
田代 泰久教授

平成 14 年度立教大学体育会ゴルフ部OB会コンペ 結果

去る 11 月 16 日（土）2002 年度の体育会ゴルフ部OB会コンペが開催されました。例年、ゴルフ場手配の都合で平日に開催されていた当コンペですが、仕事の都合で参加できない方も多数いらっしゃいました。しかし、今回は森本さん（昭和 63 年卒）のご尽力により、土曜日に名門の「茨城カントリークラブ」にて開催することが可能となり、若手OBの参加が目立った会となりました。ゴルフ場関係者の方々、多くの諸先輩方のご協力を頂戴致しましたこと、この場をお借りして深謝申し上げます。

ご存知ですか？ 会員限定メールニュース配信制度!!

昨年より立教大学体育会ゴルフ部ではOB会員の皆様に対し、より身近に現役の活躍を知っていただくとの趣旨で、「ゴルフ部ニュース」の配信を開始いたしました。

昨年は主として各リーグ戦の結果を、ご登録いただいた延べ 100 件を超えるOB会員のメールアドレスにお送りいたしました。各日のラウンド終了 10 分後には試合会場からリアルタイムに配信、またメールを受け取ったOB会員様より会報の選手宛てに応援の返信をいただくといったインタラクティブなコミュニケーションツールとなっております。

今後さらには皆様のご意見をいただき、新たな情報をお伝えしていきたいと考えておりますが、未登録の方で配信ご希望のOB会員の方は、以下のメールアドレスまで卒業年度とお名前及びメールアドレスをご記入頂き、「ゴルフ部ニュースメール配信希望」とご記入のうえご送信ください。携帯メールアドレスでもOKです。（eメールと携帯メール両方に配信希望の方は両方記入してください。）皆様のご登録をお待ちしております。

また、ゴルフ部およびOB会の活動については、ゴルフ部ウェブサイトのほうも併せてご覧ください。

立教大学体育会ゴルフ部ウェブサイト URL www2.odn.ne.jp/rikkyo-golf/
広報委員会 角田 岳(平成5年卒) gtsunoda@dwcc.co.jp

さて、当日は、若干肌寒い気温でしたが快晴微風のゴルフ日和に恵まれ、ご参加頂きました 33 名の O B ・ O G、ならびに 5 名の現役学生には、素晴らしい深秋のゴルフ場を満喫して頂けたことと思います。優勝された鈴木さん（昭和 52 年卒）を筆頭に、ドライバーを曲げず、グリーン周りで勝負強さを発揮した方が好スコアに結びついたと感じました。

来年は、今年以上に多くの O B ・ O G の皆様にご参加頂き、ますます盛大な会にしていきたいと思いません。

企画委員会 石渡 一郎（平成 10 年卒）

【 成績表 】

順位	氏名	卒年	グロス	HDCP	ネット	順位	氏名	卒年	グロス	HDCP	ネット
1	鈴木 正敏	昭 52	84	15.6	68.4	20	森山 裕之	平元	87	10.8	76.2
2	川上 恭弘	昭 63	76	4.8	71.2	21	岡本 賢人	平 13	103	26.4	76.6
3	川俣 雅昭	平 9	84	12.0	72.0	22	山口 高	昭 45	96	19.2	76.8
4	遠藤 大介	平 12	84	12.0	72.0	23	森本 嘉彦	昭 63	95	16.8	78.2
5	菅 真知	昭 45	83	10.8	72.2	24	神尾 守	昭 46	99	20.4	78.6
6	石渡 一郎	平 10	83	10.8	72.2	25	城 立仁	昭 46	98	19.2	78.8
7	原田 忠之	昭 42	88	15.6	72.4	26	土橋 勝	平 13	92	13.2	78.8
8	横倉 正人	平 13	88	15.6	72.4	27	小石 織江	平 3	103	24.0	79.0
9	鈴木 康友	平 14	84	10.8	73.2	28	鶴川 陽夫	平 13	100	20.4	79.6
10	青木 克益	昭 63	87	13.2	73.8	29	森山 奈美江	平元	108	27.6	80.4
11	稲川 一	昭 47	80	6.0	74.0	30	外處 依里子	昭 63	108	27.6	80.4
12	湯浅 紀男	昭 38	91	16.8	74.2	31	清水 友香	平 5	107	26.4	80.6
13	海老原 寿人	昭 55	79	4.8	74.2	32	森田 さえ子	平元	120	31.2	88.8
14	関根 守夫	昭 41	84	9.6	74.4	33	田中 亜弥	平 5	134	36.0	98.0
15	藤沼 勝利	昭 42	84	9.6	74.4	入賞なし	甚野 政義	1年	82	10.8	71.2
16	北口 博	昭 58	83	8.4	74.6	入賞なし	内山 俊男	3年	76	3.6	72.4
17	滝川 静子	昭 38	92	16.8	75.2	入賞なし	小野 貴博	3年	90	13.2	76.8
18	入江 誠一	昭 59	92	16.8	75.2	入賞なし	原 千登勢	2年	96	18.0	78.0
19	角田 岳	平 5	92	16.8	75.2	入賞なし	武藤 可奈子	3年	100	19.2	80.8

平成 14 年度立教大学体育会ゴルフ部 O B 会総会 議事録

平成 14 年 4 月 26 日 於 センチュリーハイアット東京

ゴルフ部創部 45 周年記念パーティーに先立ち開催された O B 会総会において、以下の議案の報告が行われました。

平成 13 年度事業報告

平成 13 年度収支決算報告（次ページ 表 1 参照）

役員改選および監督、コーチの選出

今年は 2 年に 1 度の改選の期にあたりましたが、前回と同じメンバーが推薦され、満場一致で同メンバーが承認されました。

平成 14 年度事業計画

平成 14 年度収支予算案（次ページ 表 2 参照）

その他

今後は常任委員会の下に各委員会（学年幹事会、現役強化委員会、総務委員会、会計委員会、企画委員会）を置き、その組織を中心に O B 会を運営していくことが提案され、承認されました。

総務委員会 森山 奈美江（平成元年卒）

表1 平成13年度立教大学体育会ゴルフ部OB会収支決算書

期間：平成13年4月1日～平成14年3月31日

収入の部			支出の部		
費目	金額	備考	費目	金額	備考
前期繰越金	5,562,704		総会費	130,200	
会員会費	1,427,000	157名	現役補助金	500,000	
預金利息	1,098		体育会OBクラブ	20,000	
45周年寄付	660,000	4月5日現在	競技費	80,000	八大学コーチ現役
エンブレム販売	135,000	現役分		80,000	八大学OB対抗
				26,000	OB東西対抗
				10,000	学連シニア
			現役祝勝会	80,330	女子Bブロック昇格
			OB会ゴルフ大会	152,970	
			OB会ゴルフ案内	93,345	往復葉書含む
			自振手数料	34,860	
			慶弔費	50,000	応援団・水上スキー部
			会議費	66,140	常任幹事会補助
				73,910	45周年記念学年幹事会
			通信費	5,275	
			寄付	500,000	125周年記念募金
			45周年記念品	580,650	エンブレム制作費
			OB名簿・会報	619,065	製作・発送
			次期繰越金	4,683,057	
	¥7,785,802			¥7,785,802	

会計担当 松波 頼明（昭和46年卒）

表2 平成14年度立教大学体育会ゴルフ部OB会収支予算案

期間：平成14年4月1日～平成15年3月31日

収入の部			支出の部		
費目	金額	備考	費目	金額	備考
前期繰越金	4,683,057		現役補助金	500,000	
会員会費	1,500,000		体育会OBクラブ	20,000	
預金利息	2,000		競技費	300,000	
45周年寄付	300,000	4月5日現在	慶弔費	150,000	学習院・慶應
			自振手数料	38,000	
			OB会ゴルフ大会	250,000	
			会議費	100,000	
			雑費	100,000	
			小計	1,458,000	
			次期繰越金	5,027,057	
	¥6,485,057			¥6,485,057	

会計担当 松波 頼明（昭和46年卒）

ちょっといい話

佐野会長 OBクラブ賞受賞！

昨年9月に韓国の釜山にてアジア競技大会が開催されましたが、JGA競技専門委員の佐野OB会長がゴルフ競技における日本選手団長を務めました。チーム成績は男子が銅メダル、女子が銀メダルを獲得、さらに女子個人で宮里藍選手が金メダルを獲得しましたが、この功績をたたえ、さる1月8日に立教大学体育会より“体育会OBクラブ賞”を受賞しました。

OB会費納入の現状とお願い

現在、OB会費の納入に関しては、年1回(11月末)の口座引落しのシステムで集金させていただいております。しかし、現状はOB総数・約550名のところ180名の入金となっております。会費収入の不足は今後のOB会活動、とりわけ会員の皆様へのコミュニケーションおよび現役学生強化のための源泉資金の減少を招いております。

そこで、現状を改善するための施策の1つとして、昨年12月に行われた常任幹事会において、「5年以上会費納入のない会員の方には、次期会費納入をいただくまで会報その他郵送物等の発送を見合わせる」旨決定がなされました。(OB会の情報についての情報は、ウェブサイトからご確認くださいようになります)

これらの経緯をふまえ、OB会費自動振り込み未登録のOB会員の皆様にはあらためて会費納入拡大のためのご協力をお願いする次第であります。

会計担当にご連絡頂くだけで、事務処理はすべて行います。気軽にお声をおかけください。なお、OB会費は男性1万円・女性8千円・入会3年以内5千円となっております。

会計担当・連絡先

中央区銀座1-13-1 (株)三晃社 松波 頼明(昭和46年卒)

電話 03-3535-5231

平成14年度 OB会費納入者一覧表(敬称略) 自動振替での会費納入にご協力いただき誠にありがとうございました。

卒年	氏名	卒年	氏名	卒年	氏名	卒年	氏名	卒年	氏名	卒年	氏名
昭32	粕谷 唯一	昭40	野村 恭子	昭45	菅 真知	昭50	須藤 敏之	昭61	笠井 由紀子	平9	中山 京子
昭33	長谷川 弘二	昭41	明浦 克夫	昭45	小池 清次	昭50	勝又 康夫	昭62	笹田 和典	平9	川俣 雅昭
昭34	吉岡 正恒	昭41	雨宮 久雄	昭45	原 篤	昭51	樫 秀和	昭62	野口 有加	平9	角田 昌浩
昭34	池田 謙二郎	昭41	後関 満之	昭45	佐藤 勝彦	昭51	大畑 栄之	昭62	古屋 裕子	平9	平野 裕実
昭35	久保田 昶夫	昭41	佐野 公胤	昭45	阿部 武	昭51	城村 秀身	昭63	井上 剛志	平9	藤井 靖
昭35	藤ヶ崎 睦美	昭41	野島 洋二	昭45	長堀 浩一	昭51	望月 衛	昭63	川上 恭弘	平9	川俣 奈央
昭36	小泉 直	昭41	白石 大史	昭45	木内 藤男	昭52	鈴木 正敏	昭63	野口 治郎	平10	石渡 一郎
昭36	柳 昭司	昭41	関口 雅章	昭46	中島 敬夫	昭53	小澤 省一	昭63	青木 克益	平10	安部 真司
昭36	星合 敏彦	昭41	関根 守夫	昭46	神尾 守人	昭53	藤田 明弘	昭63	村田 弘美	平10	近藤 将人
昭36	遠藤 伸	昭41	武笠 全一朗	昭46	松波 頼明	昭54	飯田 洋	平元	森山 裕之	平10	斎藤 吉宏
昭36	恩田 幸正	昭41	田中 章夫	昭46	峰岸 裕行	昭54	猪飼 武久	平元	金山 俊明	平10	鳴川 万希子
昭36	金井 浩	昭41	佐野 誠子	昭46	城 立仁	昭55	山崎 哲義	平元	森山 奈美江	平10	宮腰 保志
昭36	倉島 光一	昭42	原田 忠之	昭46	山口 高	昭55	海老原 寿人	平元	森田 さえ子	平11	根岸 睦人
昭36	八木下 省三	昭42	西沢 好昭	昭46	稗田 研二	昭56	渡辺 哲也	平2	岡田 光史	平12	新田 浩史
昭37	林 孝	昭42	檜山 園彦	昭47	保谷 厚一	昭56	矢部 徹也	平2	廣瀬 義徳	平12	神田 好一郎
昭38	笠原 康宏	昭42	川田 太三	昭47	稲川 一	昭57	山口 昇	平2	近藤 寛樹	平12	越田 享
昭38	湯浅 紀男	昭42	松本 修	昭47	永瀬 一雄	昭57	狩野 達男	平2	乗附 和明	平13	横倉 正人
昭38	志村 輝雄	昭42	鈴木 良三	昭47	岩田 順子	昭58	斎 孝浩	平2	大西 しずか	平13	土橋 勝
昭38	加島 泰二	昭42	勝又 基夫	昭48	小田 一行	昭58	北口 博	平2	内山 明子	平13	吉井 庸之
昭38	伊藤 庸	昭43	小山 博通	昭48	浅井 隆	昭59	今井 克典	平3	春日 照貴	平13	鷯川 陽夫
昭38	滝川 静子	昭43	田中 一成	昭48	木村 恭介	昭59	増田 剛	平3	湯浅 康弘	平13	岡本 賢人
昭38	前田 啓子	昭43	貝谷 忠彦	昭49	滝沢 光雄	昭59	斉藤 正久	平3	福原 智子	平13	平本 麻里子
昭39	武藤 一彦	昭43	保坂 道子	昭49	相沢 正	昭59	鈴木 淳也	平3	小石 織江	平14	鈴木 康友
昭39	村田 義昭	昭44	鈴木 伸雄	昭49	野口 勝	昭59	山本 浩二	平4	細谷 昭久	平14	中村 公太郎
昭39	伊東 祐次	昭44	村上 博典	昭49	石井 定明	昭59	会田 美智弥	平4	湯浅 吉博	平14	関根 範丈
昭39	原 紀世子	昭44	加瀬 正彦	昭49	相沢 辰男	昭59	入江 誠一	平6	上保 裕樹	平14	朝野 照章
昭40	安西 久夫	昭44	吉池 昭	昭49	坂田 一郎	昭59	布施 一美	平7	宮崎 リサ	平14	大野 晃
昭40	金谷 輝雄	昭44	増田 智恵	昭49	川島 幸夫	昭59	加藤 智子	平7	飯田 健一	平14	森 大介
昭40	酒井 敬子	昭44	檜山 弘子	昭50	中島 久夫	昭61	松田 千代美	平9	北村 友子	平14	大石 重子
昭40	池上 啓子	昭45	木村 憲司	昭50	宮下 治也	昭61	桑原 孝子	平9	平野 義三	平14	田村 祥子

順不同

今年度は自動振り込み未登録の会員の皆様宛てに、**今月下旬から2月上旬にかけてゴルフ部学生がOB会費を頂きにお伺いさせていただきます。**その際に来年度以降の会費納入のための自動振り込み申し込み用紙を持参いたしますので、ご記入の上、学生にお渡しいただくか下記までご郵送いただければ幸いです。何卒皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

郵送先・・・〒104-0061 中央区銀座1-13-1 (株)三晃社 松波 頼明 電話 03-3535-5231

【平成14年度関東学生ゴルフ連盟秋季対抗戦終了時順位】

男子	
Aブロック	
1位	東北福祉大学
2位	日本大学
3位	日本体育大学
4位	専修大学
5位	中央学院大学
6位	明治大学
Bブロック	
1位	駒澤大学
2位	法政大学
3位	東洋大学
4位	立教大学
5位	拓殖大学
6位	中央大学
Cブロック	
1位	神奈川大学
2位	早稲田大学
3位	慶應義塾大学
4位	東海大学
5位	学習院大学
6位	帝京大学
7位	山梨学院大学
8位	大東文化大学
Dブロック	
1位	横浜商科大学
2位	城西国際大学
3位	関東学院大学
4位	東北学院大学
5位	玉川大学
6位	明治学院大学
7位	青山学院大学
8位	一橋大学

女子	
Aブロック	
1位	東北福祉大学
2位	日本大学
3位	日本体育大学
4位	専修大学
5位	中央学院大学
6位	法政大学
Bブロック	
1位	明治大学
2位	慶應義塾大学
3位	玉川大学
4位	学習院大学
5位	東洋英和女学院大学
6位	日本女子大学
Cブロック	
1位	川村学園女子大学
2位	立教大学
3位	東京家政学院大学
4位	大東文化大学
5位	聖心女子大学
6位	共立女子大学
7位	山梨学院大学
8位	成蹊大学
Dブロック	
1位	上智大学
2位	清泉女子大学
3位	創価大学
4位	成城大学
5位	東京大学
6位	実践女子大学
7位	フェリス学院大学
8位	大妻女子大学
9位	白百合女子大学
10位	東京女子体育大学
11位	獨協大学
12位	東京農業大学
13位	明治学院大学

【編集後記】

先行きの不透明な今日このごろ、最近目にした往年の名プロゴルファー、ピリー・キャスパーの言葉が心に残ります。

先のことを考える。ゴルフは次のショットのためにどうするかを考えるゲームである。

ゴルフに限らず人生のあらゆる局面において近視眼的ではなく、長期的な視野に立った行動が必要だとつくづく感じさせられております。皆様にとって、この1年が実りあるものになりますようにお祈り申し上げます。(T)

この会報は皆様からお振込みいただいたOB会費によって製作されています

平成14年度立教大学体育会ゴルフ部OB会 会報

発行者：立教大学体育会ゴルフ部OB会

事務局：東京都豊島区西池袋三丁目 立教大学内

発行人：佐野 公胤 編集人：青木 克益、角田 岳、清水 友香

<http://www2.odn.ne.jp/rikkyo-golf/>

(立教大学体育会ゴルフ部ウェブサイトにて、ゴルフ部の最新情報をご覧ください。)